

みんなの願いは窓口無料 おすすめ会ニュース 15-13号

2015年7月9日(木)

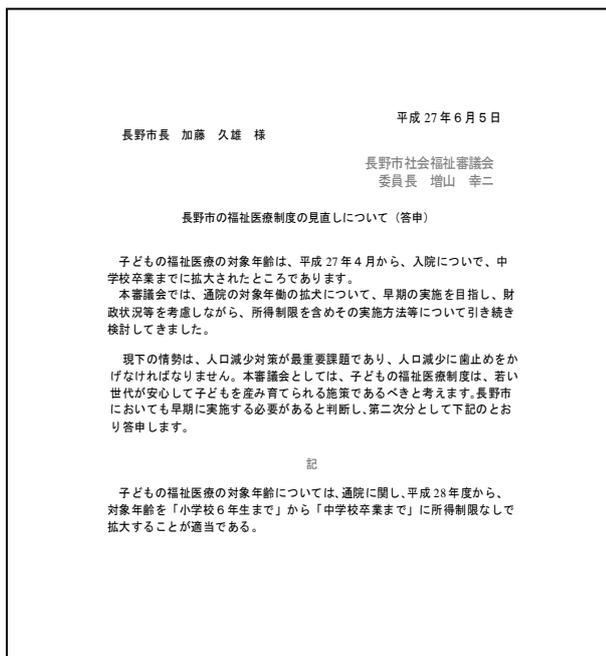
発行：福祉医療給付制度の改善をすすめる会

<http://www.medical-post.net/fukushi/>

(長野市高田中村276-8：長野県社保協内)

長野市社会福祉審議会(6月5日)

子ども医療費助成対象を平成28年度から「通院」も「中学校卒業まで」(所得制限なし)拡大の答申！ これで来年度には県下すべての市町村が通院・入院とも「中学校卒業まで」以上(所得制限なし)に！



長野市社会福祉協議会は、6月5日長野市長あてに「長野市の福祉医療制度の見直しについて」の答申を提出しました。

その内容は、子どもの福祉医療の対象年齢について、通院についても、平成28年度(2016年度)から対象年齢を「小学校6年生まで」から「中学校卒業まで」に所得制限なしで拡大することです。

この答申内容が実行に移されれば、次年度から長野県下すべての市町村が子どもの医療費助成の対象が通院・入院とも「中学校卒業まで」以上になります。

これらは、私たちの運動の成果です。この答申の中で、その理由として、「現下の情勢は、人口減少対策が最重要課題であり、人口減少に歯止めをかげなければなりません。本審議会としては、子どもの福祉医療制度は、若い世代が安心して子どもを産み育てられる施策であるべきと考えます。長野市においても早期に実施する必要があると判断

したとあります。この判断基準からすれば、もう一步踏み込んで「窓口無料化」を求めて欲しかったと思います。

専門分科会では「窓口無料化」等の意見も

注目したいのは、上記審議会の分科会である「福祉医療給付金専門分科会」の会議(4月22日)では、医師会の代表と思われる委員から「窓口無料化」等を求める意見が出されたことです。

「対象年齢拡大については、数年来医師会で毎年お願いしてきたところ、今回実施していただけるということでお礼申し上げる。更にお願いが2点あるが、1つは「窓口の一部負担金払いの無料化」で、医療機関の手数料等考えると一部負担金をその場で払わないでやっていけるようになるとなおいい。更に18歳まで年齢拡大をしていただきたい。この2点をこの場でお願いする。」(ホームページで公開された議事録から抜粋)

この要望については、「今回の論点でない」などの理由で、実質上無視された状態になりましたが、窓口無料化を求める要望が医師会から出された点については、注目したいと思います。